

昭和 61 年度

秋田県環境技術センター年報

第 14 号

秋田県環境技術センター

## は じ め に

昭和61年度の事業の概要と調査研究の結果を、年報第14号として取りまとめましたのでお届けします。

本県では、「健康で暮し良い生活の実現」を県政の基本課題の一つとして、開発と環境とのバランスをとり、潤いとやすらぎのある豊かな生活環境の創造に取り組んでいるところであります。

このため当センターにおいては、行政と一体となってそのニーズに対応するとともに、社会の変化を適確に見極めながら地域に密着した調査研究を行い、さらには長期的展望に立った予見的・基礎的な研究への態勢づくりを進めているところであります。

今後とも県民の多様な要請にこたえられる試験研究機関をめざして、地道に努力を重ねてまいりたいと考えておりますので、関係各位の御指導と御助言を賜まわれますようお願い申し上げます。

昭和62年12月

秋田県環境技術センター

所 長 進 藤 政 勝

# 目 次

はじめに	
I 沿革	1
II 庁舎の概要	1
III 組織	5
1 機構と事務分掌	5
2 職員配置	5
3 職員名簿	6
IV 予算	8
V 主要機器	9
VI 業務概要	11
1 大気関係	11
(1) 排出基準検査	11
(2) 使用燃料油の硫黄分検査	11
(3) 浮遊粉じん調査	13
(4) 騒音・振動	21
1) 秋田空港周辺航空機騒音調査	21
2) 能代港湾整備事業騒音振動調査	21
3) 男鹿市船川港内公有水面埋立事業(国家石油備蓄基地用地)に係る騒音、振動調査	21
4) 騒音、振動実態調査	21
(5) 悪臭調査	21
(6) 道路近傍における浮遊粉じん等の実態調査	22
(7) 雨水成分調査	22
(8) 自動車排ガスの挙動に関する調査	22
(9) 大気汚染常時測定局の測定結果	22
1) 測定局の現況	22
2) 測定結果	24
① 一般大気環境	24
ア) 風向・風速	24
イ) 二酸化硫黄	28
ウ) 窒素酸化物	29
エ) 一酸化炭素	32
オ) 光化学オキシダント	32
カ) 炭化水素	33
キ) 浮遊粒子状物質	35
ク) 浮遊粉じん	35
② 自動車排出ガス	37
ア) 窒素酸化物	37
イ) 一酸化炭素	41

2	水質関係	41
(1)	水質環境調査	41
1)	十和田湖水質環境調査	41
2)	田沢湖水質環境調査	43
3)	八郎湖水質環境調査	43
4)	八郎湖周辺河川水質環境調査	44
5)	八郎湖流入河川(15地点)水質調査	45
(2)	工場・事業場排水基準検査	46
(3)	八郎湖における水質汚濁物質負荷量削減に関する調査研究	46
1)	幹線排水路調査	47
2)	中排水路調査	47
(4)	出羽丘陵北部、東部地域水質調査	47
(5)	生活雑排水の浄化試験	47
3	土質関係	48
(1)	土壌汚染対策調査	48
(2)	休廃止鉱山対策調査	49
(3)	有害化学物質の実態調査	49
(4)	未規制物質に係る水質調査	49
(5)	酸性雨による土壌影響調査	49
(6)	土壌汚染環境基準設定調査	49
(7)	酸性河川調査	50
(8)	その他の調査	50
VII	報 文	51
	・道路近傍における浮遊粉じん等の実態について(第5報)	51
	・秋田市内における雨水成分の調査結果について(第4報)	66
	・沿道周辺における自動車排ガスの挙動に関する調査研究(第1報)	80
	・生活雑排水の浄化に関する研究—試作処理装置の性能試験—	90
VIII	学 会 等	103

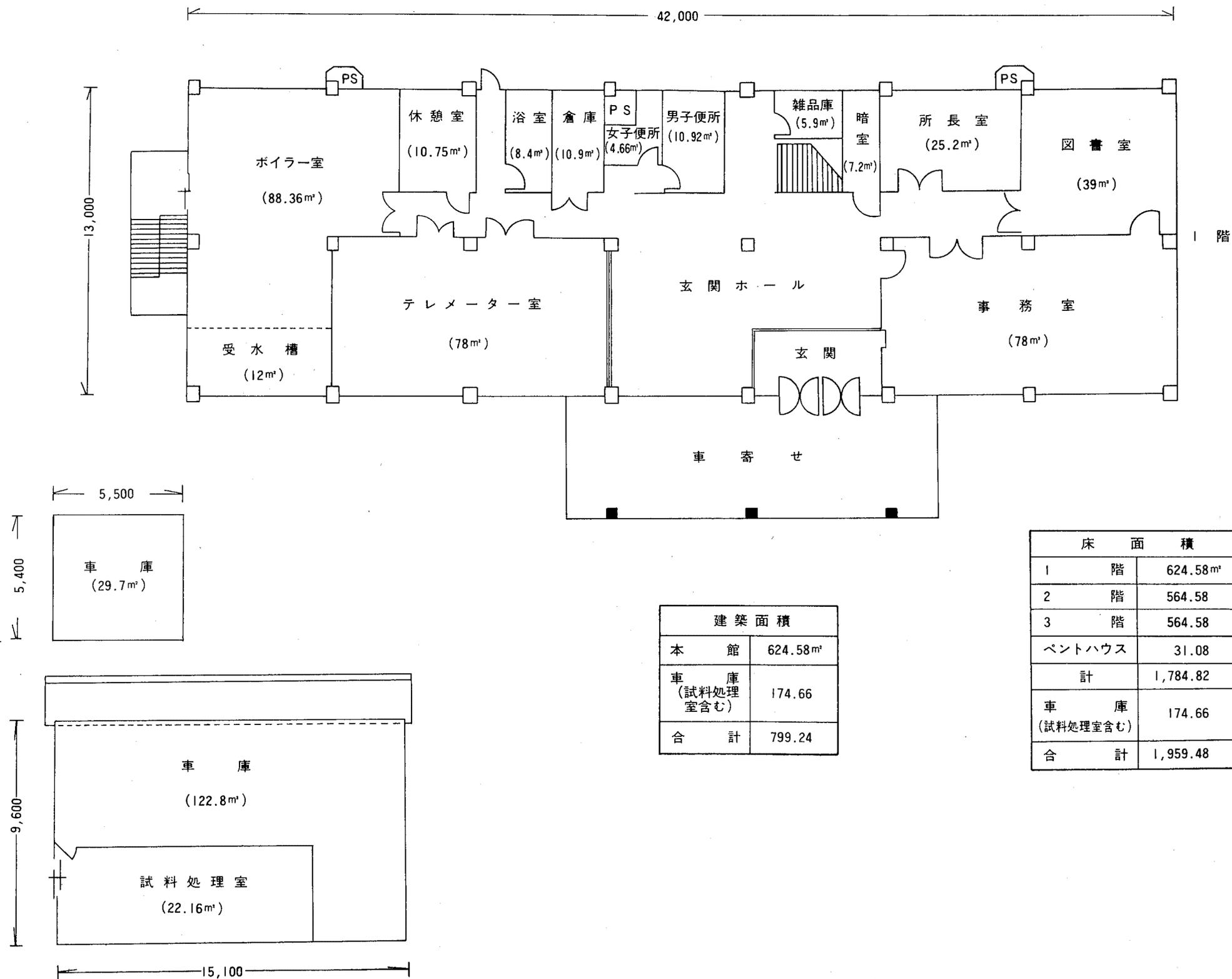
# I 沿 革

昭和45年7月1日	秋田県公害技術センター設置 大気科、水質科2科で発足 設置場所→秋田県工業試験場内
昭和46年4月1日	土質科増設
昭和46年10月1日	企画開発部から環境保健部へ所属換
昭和48年4月1日	テレメーター係、管理係増設
昭和48年7月19日	現庁舎完成
昭和55年7月1日	公害技術センター設置10周年記念行事実施
昭和56年4月1日	機構改革により生活環境部へ所属 環境技術センターに名称替
昭和58年4月1日	テレメーター係を大気科に統合
昭和62年4月1日	科制を廃止し、担当制

# II 庁舎の概要

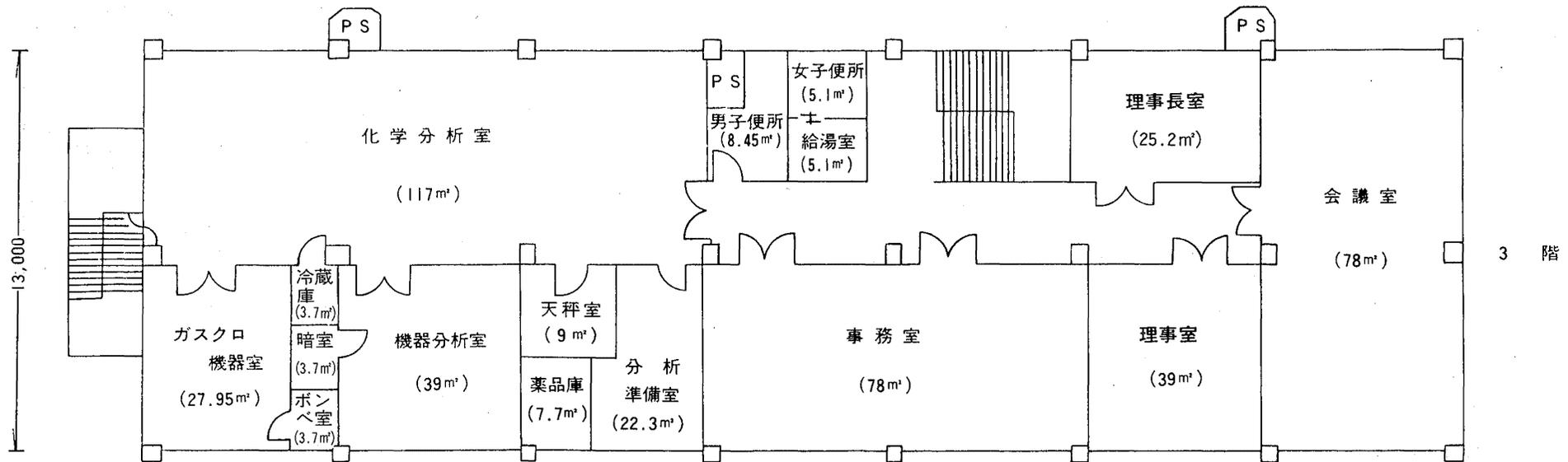
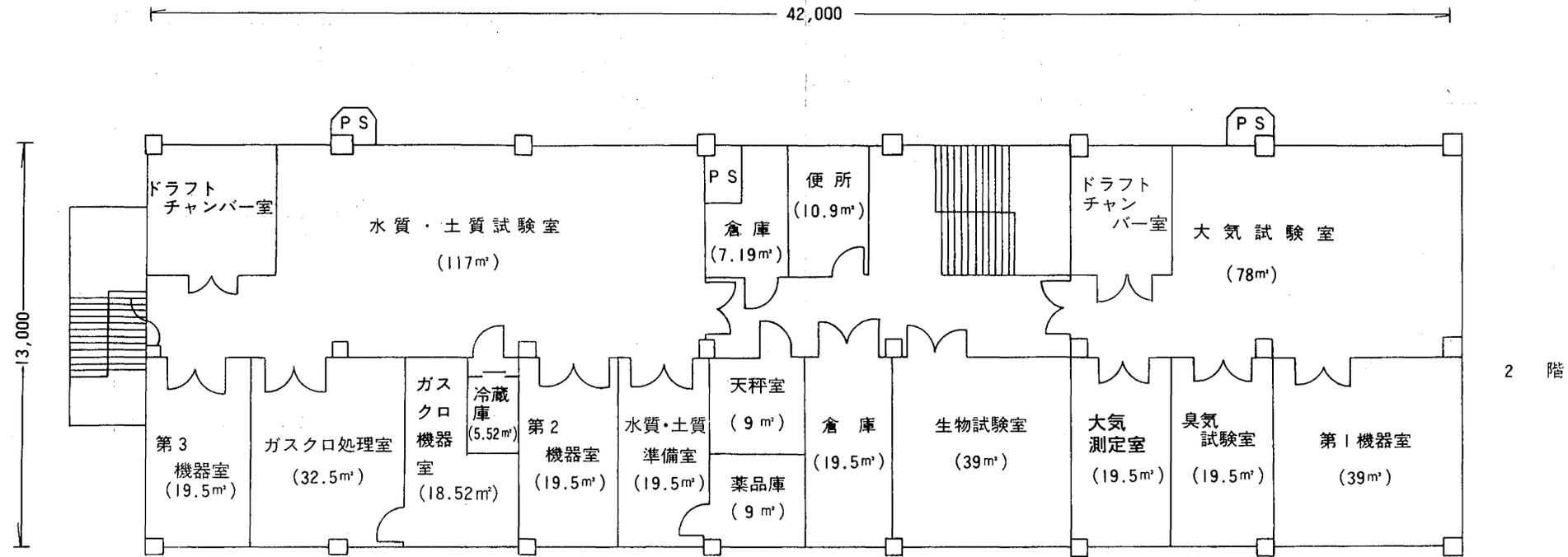
1 位 置	秋田市八橋字下八橋191-18	
2 敷地面積	6,664.54㎡	
3 建 物	鉄筋コンクリート造3階建	延1,959.48㎡
4 建物の主な内訳		
1階	テレメーター室、所長室、事務室、図書室、ボイラー室	624.58㎡
2階	大気、臭気、生物、水質、土質の各試験室、ガスクロ機器室	564.58㎡
3階	会議室、財秋田県分析化学センター	564.58㎡
4階	ペントハウス	31.08㎡
	車庫（試料処理室含む）	174.66㎡

5 庁舎平面図



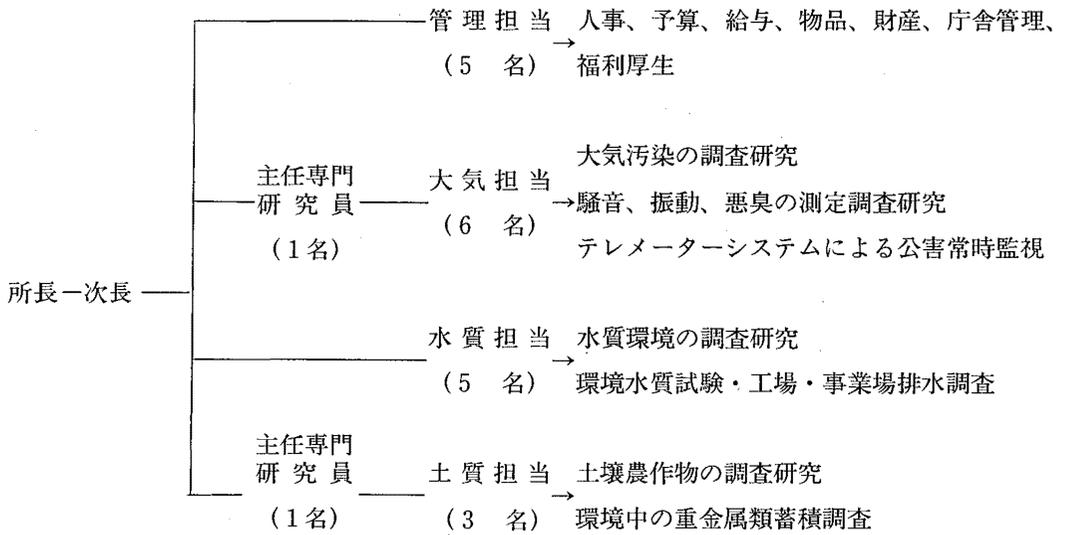
建築面積	
本館	624.58m <sup>2</sup>
車庫 (試料処理室含む)	174.66
合計	799.24

床面積	
1階	624.58m <sup>2</sup>
2階	564.58
3階	564.58
ペントハウス	31.08
計	1,784.82
車庫 (試料処理室含む)	174.66
合計	1,959.48



### III 組 織

#### 1 機構と事務分掌



#### 2 職員配置

62.4.1 現在

区分 \ 職種	事務吏員	技術吏員	運転技師	計
所 長		1		1
次 長	1			1
主任専門研究員		2		2
管 理 担 当	3		2	5
大 気 担 当		6		6
水 質 担 当		5		5
土 質 担 当		3		3
計	4	17	2	23

3 職員名簿

62.4.1 現在

担当名	職名	昭和61年度	昭和62年度	備考
		氏名	氏名	
	所長	進藤政勝	進藤政勝	
	次長		小川正逸	管財課から
	〃	伊藤富津雄		保健衛生課へ
管理担当	主査		金野哲治	係長から
	係長	金野哲治		主査へ
	主任	桑原恵子	桑原恵子	
	主事	吉田和彦	吉田和彦	
	技師(運転)	米田信夫	米田信夫	
	〃	鈴木春樹	鈴木春樹	
大気担当	主任専門 研究員	藤盛義英	藤盛義英	
	専門研究員		小玉幹生	科長から
	〃		江川善則	内水面水産指導所から
	〃		斉藤学	主任から
	科長	小玉幹生		専門研究員へ
	主任技術員	国部十二郎		県民生活課へ
	主任	斉藤学		専門研究員へ
	〃	泉博克	泉博克	
	〃	藤島直司	藤島直司	
	技師	高橋浩	高橋浩	
水質担当	専門研究員	高田熙	高田熙	
	〃		片野登	秋田保健所から

担当名	職名	昭和61年度	昭和62年度	備考
		氏名	氏名	
水質担当	専門研究員		組谷 均	環境保全課から
	主任	鈴木 雄二	鈴木 雄二	
	主事	塚田 善也		情報統計課へ
	技師	石郷岡 晋	石郷岡 晋	
土質担当	主任専門研究員	大橋 猛	大橋 猛	
	専門研究員		武藤 公二	科長から
	〃		菅 雅春	主任から
	科長	武藤 公二		専門研究員へ
	主任	菅 雅春		〃
	〃		松田 恵理子	技師から
	技師	松田 恵理子		主任へ

## IV 予 算

(単位：千円)

款	項	目	節	61年度 予算額	62年度 予算額	備考
衛生費	環境衛生費	公害対策費	報酬	912	936	
			共済費	454	469	
			賃金	3,840	3,960	
			報償費	138	68	
			旅費	2,881	3,140	
			需用費	40,259	39,188	
			役務費	13,680	9,133	
			委託料	12,300	12,389	
			使用料及び 賃借料	632	732	
			工事請負費	—	—	
			備品購入費	10,600	4,104	
			負担金補助 及び交付金	35	35	
			公課費	121	121	
計				85,852	74,275	

## V 主 要 機 器

機 器 名	規 格	数 量	備 考
テレメーター装置一式	日 立	1	
風 向 ・ 風 速 計	光 進 MV-110 海上電機 SA-200	15	
一酸化炭素自動測定機	日立堀場 APMA-2,000 APMA-3,000	6	
二酸化硫黄自動測定機	電気化学 GRH-73 紀本 316	15	
窒素酸化物自動測定機	紀 本 212・214 電気化学 GPH74	15	
オキシダント自動測定機	京都電子 OX-07	4	
炭化水素自動測定機	日立堀場 APHA-3,000 島 津 HCM-3AS	2	
標準オゾン計校正装置	紀 本	1	
標準ガス発生装置	紀 本 SGG-2	1	
アンダーセンエアサンプラー	高 立	3	
自動イオウ分析装置	理学電気 サルファX	1	
デジタル騒音計	リオン NA-31	3	
ガスクロマトグラフ	島 津 GC-4 BM 5A・7A	7	
高速液体クロマトグラフ	島 津 LC-3A	1	
分 光 光 度 計	島 津 UV-150 日本分光 UV-320	2	
赤外線分光光度計	日本分光 IR-810	1	
自記分光光度計	日 立 323	1	
蛍光分光光度計	島 津 RF-540	1	
原子吸光分光光度計	日 立 180-18 島津AA610S・AA640	3	
水銀測定装置	理学マーキュリー	1	
低温灰化装置	トラペロ	1	
土壤試料抽出振とう装置	三田村 MRK	1	
水質自動分析装置	テクニコン AAII	1	
T O C 測 定 機	島 津 TOC-500	1	
パーソナルコンピュータ	I B M 5550	1	

機 器 名	規 格	数 量	備 考
生 物 顕 微 鏡	オリンパス BHSU-SP	1	
藻 類 培 養 装 置	伊藤製作所 AGP-150R	1	
全自動排水処理装置	同和鉱業 LIP50AH <sub>3</sub>	1	
乾 燥 器	タバイ	4	
監 視 用 船	ヤマハ VV-25	1	
環 境 測 定 車	いすゞエルフ	1	
恒 温 器 (BOD用)	平 山	1	
冷 凍 冷 蔵 庫	三菱電機、日立、三洋	3	
藻類静置培養恒温槽	伊藤製作所KHC-IA	1	
明・暗視野式 双眼実体顕微鏡	オリンパス JM	1	
透過型ノマルスキー式 微分干渉顕微鏡	オリンパスBHS-373N	1	
恒 温 器 (大腸菌用)	ヤマト科学IC-102	1	
凍 結 濃 縮 装 置	大洋科学工業FC-6	1	
低 温 恒 温 循 環 機	大洋科学工業CL-19	3	
高 圧 滅 菌 器	平 山 HL36Ae	1	
高 圧 滅 菌 器	平 山 HA24	1	
乾 熱 滅 菌 器		1	
遠 心 分 離 機	クボタ	1	
オ ー ト ス チ ール	ヤマト	1	
イ オ ン メ ー タ ー	東 亜	1	
P H メ ー タ ー	東 亜	2	
電 気 電 導 度 計	東 亜	1	
定 温 湯 煎 器	宮本理研	1	
マグネテックスターラー	東 洋 (COD用)	2	
コ ン プ レ ッ サ ー	日 立 1.5P/分9.5T	1	
ポータブルデスクリート オートサンプラー	N K S	2	
振 と う 装 置	宮本理研	3	